

水前寺成趣園

落合素堂

秋月春花旅魂を慰

清澄涌水自潺湲

遊人杖曳池辺の径

四季逍遙成趣園

【作者】落合素堂（一八九二～一九七二）（明治二十五年～昭和四十六年）・名は寿次郎。書家、詩人。肥後熊本の水道町の生まれ。同四十四年、十九歳の時、税務官吏となり、二十八年間、熊本税務監督局に勤務し、退官後、十余年間、九州産業交通の経理事務に携わった。その間九州学院の書道講師を勤めるかたわら、自宅あるいは各地に出張して書道の教授に当った。昭和四十六年没

【備考】『水前寺成趣園』は熊本県熊本市中央区にある大名庭園。面積約七万三千平方メートル。通称は水前寺公園。豊富な阿蘇伏流水が湧出して作った池を中心に、た桃山式回遊庭園で、築山や浮石、芝生、松などの植木で東海道五十三次の景勝を模したといわれる。熊本藩細川氏の初代藩主・細川忠利が一六三六年（寛永十三年）頃から築いた「水前寺御茶屋」が始まり。細川綱利のときに泉水・築山などが作られ、現在見るような形となった。陶淵明の詩「歸去來辭」の一節「園日涉以成趣」からとって「成趣園」と名付けられた。